

■ 業務概要

薬物の有効性や安全性は、投与された薬物の体内での動きを明らかにすることで、はじめて適正な評価が可能となります。私たちは、生体に投与された薬物の吸収、分布、代謝、排泄について詳細な検討を行っており、候補化合物に対しては薬物動態的観点からの最適化、また、選択された開発化合物に対しては、承認申請に必要な薬物動態試験を実施しています。具体的には、1) LC/MS等の最新の分析機器および分析技術を駆使した血液中および組織中の薬物濃度測定(低分子化合物および核酸・抗体等)、2)生体内代謝によって生成する代謝物の化学構造の決定(in vitro/in vivo)、3)放射性標識体等を動物に投与して薬物の体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)を評価するin vivo試験、4)イメージングMS等、薬物の分布を見るための新規測定系の研究、5)ヒトの薬物動態および薬物間相互作用を予測する上で重要となる代謝酵素やトランスポーターに関するin vitro試験、6)モデリング&シミュレーションの手法を用いた開発化合物のヒト血中動態予測、等を主に実施しています。こうした一連の薬物動態研究を通じて、創薬段階から承認申請まで医薬品開発の全体像を理解し、他部署とも連携・協力して創薬に貢献できる研究者の育成を目指しています。

■ 大切にしている思い

最新のサイエンスや新規の評価系技術も取り入れながら、候補・開発化合物(探索～申請)の様々な薬物動態評価を自社の研究員が中心となって着実に積み重ねていくことで、大塚独自の画期的な新薬創出に繋がりたいと考えています。

■ 求めている人物像

- 分析技術や分析機器の操作を積極的に学び、薬物濃度測定等の分析業務を手順書通りに着実に遂行できる方
- 部内外の社員と連携・協力しながら研究活動できる方
- 自分の強みを活かし、周りに発信しながら創薬研究に貢献できる方